

ひまわり発達相談センターの事業実績

I. 主な事業内容

1. 利用者状況

(1) 相談

(初回相談、医師相談、その他の相談)

(2) 指導

(個別指導、グループ指導)

2. 乳幼児個別支援計画

3. 巡回相談

4. 研修

(1) 発達支援に関する研修

(発達支援基礎研修、発達支援研修講師派遣型)

(2) 職員研修(職場内研修)

5. 保護者の仲間づくり・学習機会

6. 発達支援施策に関する会議

(市民協働こども発達支援推進協議会、発達支援サポートネットワーク会議)

7. 障がい児相談支援事業

8. その他

令和3年度事業実績 と 令和4年度事業実績

事業実績についてはそれぞれ12月31日時点で記載しています。

1. 利用者の状況

利用者には検温・手指消毒・マスク着用の協力を依頼しました。また、センター職員は指導・相談毎に必ず換気、消毒作業を実施しています。

令和3年度

	就学前児童	就学児等				合計
		小学生	中学生	高校生	計	
実人数	477人	128人	21人	2人	151人	628人
延人数	3,439人	422人	61人	2人	485人	3,924人

令和4年度

	就学前児童	就学児等				合計
		小学生	中学生	高校生	計	
実人数	488人	130人	24人	5人	159人	647人
延人数	2,882人	460人	46人	9人	515人	3,397人

(1) 相談

成長発達上において不安や心配のある子どもの状況について相談を行いました。

① 初回面接（実人数）

令和3年度	就学前児童	158人	就学児等	151人
令和4年度	就学前児童	172人	就学児等	159人

② 医師による相談（延人数）（12月31日時点）

令和3年度

	就学前	小学生	中学生	高校生	合計
小児科	11人	2人	0人	0人	13人
児童精神科	4人	4人	1人	0人	9人
合計	15人	6人	1人	0人	22人

令和 4 年度

	就学前	小学生	中学生	高校生	合計
小児科	9 人	1 人	0 人	0 人	10 人
児童精神科	4 人	3 人	1 人	0 人	8 人
合 計	13 人	4 人	1 人	0 人	18 人

③ その他の相談

令和 3 年度

	就学前児童	就学児等	計
施設・学校等訪問	6 人	21 人	27 人
電 話	396 人	213 人	609 人
保護者との面接	180 人	102 人	282 人
合 計	582 人	336 人	918 人

令和 4 年度

	就学前児童	就学児等	計
施設・学校等訪問	4 人	11 人	15 人
電 話	407 人	220 人	627 人
保護者との面接	125 人	125 人	250 人
合 計	536 人	356 人	897 人

(2) 指導（延人数）（12月31日時点）

就学前児童に対して、その成長発達上の課題に応じた指導を行いました。

令和 3 年度

内 容	個別指導	グループ指導	合 計
言 語	492 人		492 人
発 達	1,594 人	352 人	1,946 人
運 動	195 人	66 人	261 人
合 計	2,281 人	418 人	2,699 人

令和 4 年度

令和 4 年度からは 3, 4, 5 歳児はグループ指導での支援ではなく、個々のアセスメントと個別の相談対応、他機関との連携を重視した個別指導を実施しました。

所属機関がない 2, 3 歳児は親子教室を実施し、保護者とともに小集団での生活を無理なく経験しながらお子様の成長や子育ての悩みを共有する場を提供しています。

4, 5 歳児の感覚統合グループ指導では、運動評価を経て、楽しく身体を動かしながら成長を後押しできるように支援しています。

内 容	個別指導	グループ指導	合 計
言 語	360 人		360 人
発 達	1,469 人	77 人	1,546 人
運 動	212 人	56 人	268 人
合 計	2,041 人	133 人	2,174 人

2. 乳幼児個別支援計画の作成状況 (12月31日時点)

成長や発達に支援が必要な就学前の児童について対象児の状況に応じた継続的な支援を行うため、個別支援計画の作成に取り組みました。5歳児については、関係機関と連携を図り、小学校等への引継ぎを行います。

令和3年度

・新規作成人数 103 人 ・継続作成人数 74 人

令和4年度

・新規作成人数 101 人 ・継続作成人数 67 人

3. 巡回相談 (12月31日時点)

幼稚園、保育所(園)、こども園等に出向き、成長発達に支援が必要な就学前の児童の対応について、幼稚園等の職員及び保護者の相談に応じ、助言等を行いました。

令和3年度

施設名	公立 幼稚園	公立 保育所	公立 こども園	私立 幼稚園	私立 保育園	私立 こども園	こども センター	その 他 ※2	計
実施施設数	5	7	5	2	11	4	1	5	40
実施回数(実回数)	7	14	14	3	36	19	3	5	101
相談人数(延人数)	8	14	14	3	36	19	8	5	107

※保護者との面談は26件

※1 延人数計107名のうち、ひまわり発達相談センターを利用していない児童65名。

※2 その他内訳：市内小規模保育施設4件、市外認可保育園1件、市外私立幼稚園1件

令和 4 年度

施設名	公立 幼稚園	公立 保育所	公立 こども園	私立 幼稚園	私立 保育園	私立 こども園	こども センター	その 他 ※2	計
実施施設数	3	6	4	1	13	3	1	4	35
実施回数(実回数)	5	13	11	1	42	11	3	5	91
相談人数(延人数)	5	13	11	1	43	11	14	5	103

※保護者との面談は 36 件

※1 延人数計 103 名のうち、ひまわり発達相談センターを利用していない児童 69 名

※2 その他内訳：市内小規模保育施設 4 件、市外私立幼稚園 1 件

4. 発達支援基礎研修・発達支援研修(公開講座)(講師派遣型)

(1) 発達支援に関する研修

① 発達支援基礎研修

保育士・幼稚園教諭等子どもにかかわる職員を対象に、発達支援に関する基礎的な知識の習得を目指し、2時間ずつ3回の講義を一日に集約して実施しました。近年の傾向では、児童発達支援事業所からの参加が増加しています。参加者からは、「一人で悩まない、みんなで支え合って育てていくんだという姿勢に感銘した」「ライフサポートファイルを使っていきたい」などの意見が寄せられています。

令和 3 年度

	午前	午後	合計
実人数	33人	10人	43人
延人数	33人	37人	70人

※半日のみ参加者、一日参加者あり。

令和 4 年度

	午前	午後	合計
実人数	32人	10人	42人
延人数	32人	37人	69人

※半日のみ参加者、一日参加者あり。

② 発達支援研修（公開講座）

発達障がい等に関する理解を推進することを目指して、市民や関係課職員を対象に公開講座を開催しました。

令和3年度

新型コロナウイルス拡大防止のため Zoom によるオンライン研修を行いました。また、研修後1か月間研修内容を YouTube にて公開しました。

テーマ：子どもの良いとこさがしとほめるコツ

講師：フリーランスソーシャルワーカー 土屋 徹氏

Zoom 参加：最大 68 人

(同時に視聴していた最大人数。延人数は不明。申し込みは 102 人)

YouTube 配信：610 回

令和4年度

市民ホールで開催後、研修内容を2週間 YouTube にて公開しました。

テーマ：ショウガイってなんだろう？

講師：植草学園大学副学長 野澤 和弘氏

千葉県中核地域生活支援センターがじゅまる ソーシャルワーカー
今井 出雲氏

市民ホール参加人数：120 人

YouTube 配信：597 回

③ 発達支援研修（講師派遣型）

私立幼稚園、保育所、こども園等を対象に、各施設に職員を講師として派遣し、研修を実施しました。

令和元年度から、「全員で受講する事で、研修内容を所属先で共有したい」、「日々の保育教育活動運営に負担をかけずに受講したい」という声に応え、職員が各施設に訪問して研修を行う体制で実施しました。研修時間時間と内容は希望に応じています。

令和3年度

各専門職それぞれが講師となり、4施設で5回48人に実施しました。

(私立保育園3、私立こども園1)

職種	内容	回数
言語聴覚士	ことばをはぐくむ	1
理学療法士	体幹と姿勢	1
作業療法士	手をうまく使うには?	1
心理判定員	気になる子どもの理解と保護者支援	2

令和4年度

職員が講師となり、私立保育園8施設で8回64人に実施しました。

職種	内容	回数
言語聴覚士	ことばをはぐくむ	1
理学療法士	乳幼児期の運動	2
作業療法士	食具の正しいもち方と指先を使った遊び	1
心理判定員	気になる子どもの理解	1
心理判定員	気になる子どもの理解と保護者のつながり	1
保育士	気になる子への配慮、関わり方を知り、よりよい保育環境を作るために	1
保育士	気になる行動「どうしてだろう?」背景を想像、整理してみましょう	1

(2)職員研修

職場内研修

職員全員で発達支援に関する様々な知識・技術を学び、職員全体で共通理解を図りました。また、令和2年度まではこども部(こども保育課・幼稚園・保育所・こども園等)、教育委員会(指導課・小中学校等)、健康福祉部(障がい福祉課・健康支援課等)にも周知し、共に学ぶ機会としていましたが、新型コロナウイルスの影響により現在は関係各課への周知は中止しています。

令和4年度実施内容

1	偏食の背景と具体的な対応について	東京未来大学 こども心理学部 講師 西村 実穂 氏
2	ことば音楽療法とセンターや家庭で取り組める活動(遊び)について	千葉ことば音楽教室主宰 ことば音楽療法士 小林 紳一 氏
3	発達障害を持つ子に対する長期の支援について、将来を見据えた幼児期の支援について	株式会社 Grow-s 代表取締役 伊庭 葉子 氏
4	習志野市の特別支援教育の現状と来年度の方針について(2月実施予定)	習志野市総合教育センター 指導主事 高橋 大悟 氏

5. 保護者の仲間づくり・学習機会

令和元年度まではヨガの活動と先輩保護者を交えたお話会を通して、保護者同士の仲間づくりの取り組みを行っていましたが、新型コロナウイルスの影響により、休止しています。

令和4年度はライフサポートファイル作ろう会を開催し、外部講師（フリーランスソーシャルワーカー土屋徹氏）による「子どものいいところさがしとほめるコツ」と題して7月に実施しました(1月も実施予定)。その際、講師の視点からのライフサポートファイルの有効活用について保護者に説明を行いました。1月は、児童発達支援事業所の職員も参加し、今後のライフサポートファイル活用推進につなげてく予定です。

そのほか、悩みの多い1歳児の保護者と子どもを対象に交流の場を1回開催しました。(1月、3月も実施予定) 子どもたちが自由に遊ぶ様子を、保育士や心理判定員がともに遊びながら観察し、保護者にフィードバックしました。また、保健師がファシリテーターとなり、保護者同士はグループワークを通じて子育ての喜びや不安を共感しあえる場を設定しました。ライフサポートファイル活用のきっかけとなる機会と考えています。

令和3年度

	第1回 (6月： 講座)	第2回 (9月： 1歳児 の集い)	第3回 (11月： 1歳児 の集い)	第4回 (11月： 保護者 の集い)	第5回 (12月： 講座)	第6回 (1月： 1歳児 の集い)	第7回 (3月： 1歳児 の集い)	合計
実人数	10人	7人	10人	5人	21人	コロナの ため中止	コロナの ため中止	53人
延人数	10人	7人	17人	5人	21人			60人

※講座…ライフサポートファイル作ろう会

令和4年度(延人数)

	第1回 (7月： 講座)	第2回 (11月： 1歳児 の集い)	第3回 (1月： 講座)	第4回 (1月： 1歳児 の集い)	第5回 (3月： 1歳児 の集い)	延人数
実人数	10人	9人	集計中	集計中	予定	19人
延人数	10人	9人	集計中	集計中	予定	19人

※講座…ライフサポートファイル作ろう会

6. 発達支援施策に関する会議

ソーシャルインクルージョンの理念に基づく市の発達支援施策を推進するため、習志野市市民協働こども発達支援推進協議会の所掌事務を、(1) 子ども・子育て支援事業計画に基づく発達支援施策の推進に関すること。(2) 関係する他の組織等との連携に関すること。(3) 習志野市ひまわり発達相談センターの評価に関すること。(4) その他市長が必要と認める事項に関すること。とし、7月に開催しました(2月も開催予定)。年間を通じて、「きらっといっぽの会」との連携や意見交換を行いました。

また、習志野市市民協働こども発達支援推進協議会の下部組織として、習志野市サポートネットワーク会議を設置し、(1) 発達支援に携わる関係機関において情報の共有を図る。(2) 発達に課題を持つ子どもの相談支援体制や発達支援に関する運用について調査、研究を行う。(3) 発達支援施策の提案を行う。ことを所掌事務とし、年2回開催いたしました(1月にも開催予定)。

令和4年度は、ライフサポートファイルの推進と集団生活の中で支援が必要な子どもを含めた所属機関での取り組み、障がい理解を深めるための取り組みについて主に話し合いました。

7. 障がい児相談支援事業

指定障害児相談支援事業所及び指定特定相談支援事業所の指定を受け、相談支援専門員が、福祉サービス等利用者に対して、サービス等利用計画又は障害児支援利用計画の作成及び評価を行いました。また、相談契約者以外の子ども、家族の状況に応じたサービス利用や制度説明等についての相談に対応しています。

・ 契約者数	4人
・ 障害児支援利用計画作成件数(延件数)	4件
・ 継続障害児支援利用援助(モニタリング)実施件数(延件数)	3件
・ 契約者以外の相談(面談)	33件

8. その他

(1) 他部署との連携・協力・講師派遣

①財政課

テレビモニターへ「ひまわり発達相談センターの案内」、「子育てショートあるあるを掲載

②広報課

Twitter の発信

きらっといっぽの会「子育てショートあるある」の習志野市ホームページ連載
広報習志野へ「ライフサポートファイル」、「ひまわり発達相談センターの案内」、「障がい理解啓発ポスター」の一部を掲載

J-com による広報テレビ「なるほど習志野」の放映

(テーマ：市民協働での発達支援の取り組み”ライフサポートファイル”と“ともそだち”)

③健康支援課

所内相談（理学療法士） 9回（1～3月にも3回実施予定）

3歳児健康診査 ことばの相談（言語聴覚士） 9回（1～3月にも3回実施予定）

④高齢者支援課

転倒予防体操（てんとうむし体操）推進員養成講座等（理学療法士） 2回
（2月にも実施予定）

⑤障がい福祉課

庁内各課への障がい理解啓発ポスターの掲示依頼（別途契約検査課へ許可依頼）

福祉サービス利用に関する打合せ・調整、周知方法の検討

習志野市障がい者地域共生協議会で事業所等とライフサポートファイル推進に向けた検討

障がい福祉のしおりへ「あたたかく見守ってください」ポスターを掲載

児童福祉法における障害児通所給付費の支給決定に係る情報提供

⑥こども保育課

保育指導委員会への情報提供

⑦子育て支援課

ファミリーサポート会員研修会(主任指導員)

テーマ：発達に課題のある子の対応

⑧児童育成課

放課後児童支援員向け研修(心理判定員) 2回(1月にも実施予定)
テーマ：特別支援について(発達障害や発達支援の観点から)

⑨総合教育センター

ひまわり発達相談センターとの合同パンフレットの作成(幼稚園・保育所・こども園、小中学校の保護者へ配布)

⑩公民館

2歳児の保護者向け講習(言語聴覚士) 3回

(2) 関係機関との連携会議

- ・三課会議(健康支援課・子育て支援課(年2回出席)・ひまわり発達相談センター)
3回(3月に1回実施予定)
- ・四課会議(こども保育課・障がい福祉課・あじさい療育支援センター・ひまわり発達相談センター)
2回(1月に1回開催予定)
- ・発達支援連携会議(総合教育センター・指導課・ひまわり発達相談センター)
4回(3月に1回開催予定)

(3) 他機関への訪問・講師派遣・連携

- ・あかね園
利用者に対する運動指導(理学療法士、作業療法士)
新型コロナウイルスの影響で中止(例年は2回)
- ・県立習志野特別支援学校
自立活動研修会(理学療法士、作業療法士) 2回(1~3月に1回実施予定)
- ・県立船橋夏見特別支援学校
自立活動内容の協議(理学療法士、作業療法士) 年1回
- ・県立船橋特別支援学校
自立活動内容の協議(理学療法士、作業療法士)
新型コロナウイルスの影響で中止(例年は1回)
- ・習志野市障がい者地域共生協議会
全体会・相談支援部会・相談支援事業所連絡会等への出席 15回

- ・習志野市障がい者地域共生協議会
機関紙「ならたく」に子育てショートあるあるを掲載
- ・訪問看護ステーション
ケース引継ぎ、指導の見学のため、訪問看護ステーションの言語聴覚士がセンターに来所 8件
- ・作業療法学科実習生の受け入れ 10件(年間合計20件予定)
- ・大学からの講師派遣依頼 1件
- ・あきつ園
親の会でライフサポートファイルに関して意見交換
- ・相談支援専門員の交流会
ライフサポートファイルの周知啓発
- ・ファミリーサポートセンターの提供会員
ライフサポートファイルの周知啓発

(4)その他

①ライフサポートファイルについて

- ・令和4年度ライフサポートファイル啓発チラシ配付 20,680枚
- ・令和4年度総合教育センターとの合同パンフレットの配付 20,780枚
- ・スターターセット配布数 794冊(未就学児用 631冊、就学時用 163冊)
- ・支援者、保護者から意見を頂きながら、より見やすいホームページへ向けて全体的なりリニューアルを行いました。また、ライフサポートファイル作ろう会の情報や、「ほめほめシート」の記入例をホームページで公開しました。啓発チラシは未就学児用・就学時用の2種類を今後作成予定です。
- ・初回面談でライフサポートファイルを来所者に配布しました。また、希望者には初回面談時の質問紙をライフサポートファイルに挟んで戻し、保護者が振り返りできるようにしました。
- ・指導の場面では当日の指導の内容やねらい、子どもの姿を保護者が書きとめ、ライフサポートファイルにつづる取り組みを継続しています。
- ・ライフサポートファイルを通して所属先との支援内容の確認や共通理解を図り、保護者に伝えるとともに、所属先との信頼関係の強化を一層進めています。
- ・「ライフサポートファイル作ろう会」や保護者の仲間づくりでの周知啓発を行

っています。また、「ライフサポートファイル作ろう会」に児童発達支援事業所の職員を呼び、推進に向け意見交換していきます。

(5 保護者の仲間づくり・学習機会 参照)

②新型コロナウイルス対策関連の工夫について

- ・検温、手指消毒は絵カードを使って分かりやすく掲示しました。
- ・廊下は一方通行にし、ロビーの使用・絵本の貸し出しを中止しました。
また、待合は外で間隔をあけて並ぶよう掲示し利用者が接触しないよう工夫しました。
- ・指導室、相談室の物品の消毒は使用毎に行い、常時換気しました。
- ・指導室、相談室以外の共用部分は毎日全館消毒を行いました。

③ホームページ関連について

- ・「きらっといっぽの会」と連携し、「子育てショートあるある」の更新を行いました。
- ・新型コロナウイルス関連についての情報を更新しました。
- ・ライフサポートファイルの様式を更新しました。